

令和2年度 大池中学校 1年生シラバス

☆学習のねらい

☆評価の観点および方法

☆学習計画

☆学習方法についての

アドバイス

目 次

国 語	・ ・ ・ ・ ・	1 ~ 3
社 会	・ ・ ・ ・ ・	4 ~ 8
数 学	・ ・ ・ ・ ・	9 ~ 10
理 科	・ ・ ・ ・ ・	11 ~ 13
音 楽	・ ・ ・ ・ ・	14 ~ 15
美 術	・ ・ ・ ・ ・	16 ~ 17
保健体育	・ ・ ・ ・ ・	18 ~ 19
技 術	・ ・ ・ ・ ・	20 ~ 21
家 庭	・ ・ ・ ・ ・	22 ~ 23
英 語	・ ・ ・ ・ ・	24 ~ 26

大池中学校	1 学年	国語
-------	------	----

学習のねらい

学習のねらい	(1) 様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解する能力を高めるとともに読書に親しみ、もの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。 (2) 自分の考えをまとめるのに書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。 (3) 目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高めるとともに、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。 (4) 文字の配置やバランスを考えて書く能力を高めるとともに、読みやすい字を正しい筆順で書こうとする態度を育てる。	
使用教材	教科書 国語1 (光村図書) 書いておぼえる漢字ノート1 (あかつき) すらすら基本文法 (浜島書店)	新編 新しい書写 1, 2, 3年生用 (東京書籍) 基礎の学習 国語 1年 (新学社) 国語便覧 (浜島書店)

2. 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
国語への関心 意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 国語の授業に積極的に参加し、授業中よく聞き、意見を言うことができる。 授業に関したことに興味・関心を持ち、自主的に学習を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の観察 (態度・発表など) ワーク・ノート・作品などの提出状況 暗唱の取り組み具合 自己評価表
話す・聞く 能力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを大切に、聞き手にわかりやすく伝えようとする。 話し手の考えを自分の考えと比べながら聞き取ろうとする。 詩や文章を工夫して朗読しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価表、相互評価 教師の評価 発表や意見の内容 聞き取りテスト 音読テスト
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが相手に伝わるような文章を書こうとする。 テーマに沿って自分の考えをまとめ文章に書き表そうとする。日本語を正しく書いたり、きれいにまとめたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題作文・感想文 定期テスト 授業プリントの作業内容 ノートの記述
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開・表現に注意して読もうとする。 文章に表れているもの見方や考え方をつかみ、自分の考えをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 授業プリントの作業内容 授業中の発表
言語について の知識・ 理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きができる。 ことばのきまりがわかる。 文字を丁寧に正確に書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 漢字や文法の小テスト 授業プリントの作業内容 書写の課題作品

3. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> 準備物・提出物を整え、チャイムと同時に漢字テストの学習に取り組もう。 授業に集中して取り組み、人の意見をしっかり聞き、自分の意見を進んで発表しよう。 板書は丁寧にノートにまとめ、配布されたプリント類を整理しよう。 朝の読書に落ち着いて取り組もう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を繰り返し、音読しよう。 新出漢字の予習・復習をしよう。 授業内容の復習をしよう。(基礎の学習を進めていこう。) プリント類の整理をしよう。

4. 学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
一 学 期	○オリエンテーション	・授業の進め方を知り、目標をもって学習に取り組める。
	○詩『野原はうたう』	・詩の内容を味わい、表現の工夫を理解している。
	○物語『花曇りの向こう』	・文章の展開を確かめながら、主人公の気持ちの変化をとらえる。 ・登場人物の様子や気持ちがわかる言葉を探し、物語の展開の中で変化していくことに気づくことができる。
	○言語『漢字の組み立てと部首』	・漢字の「偏旁冠脚」を理解している。
	○説明文『ダイコンは大きな根？』 ○説明文『ちょっと立ち止まって』	・文章を読み、ものの見方や考え方を広げようとしている。 ・段落やまとまりごとに要旨をまとめることができる。 ・接続する語句に着目し、内容を理解し構成をとらえることができる。
	○話す・聞く 『「好きなもの」を紹介しよう』	・聞き手の立場に立ったスピーチを行い、評価し合うことができる。
	○情報『情報の集め方を知ろう』	・目的に応じた情報収集のしかたを知り、調べることができる。
	○言語『話し言葉と書き言葉』	・日常生活で用いられている「話し言葉」「書き言葉」の特色を考える。
	○詩『詩の世界』	・詩の特徴を捉え、作者の思いを考える。
	○言語『言葉を集めよう』	・自分の好きな食べ物の紹介文を百字程度で書くことができる。
○言語『言葉のまとまりを考えよう』	・『文章』『段落』『文』『文節』『単語』を理解している。	
○言語『書写』	・手本をよく見て丁寧に書くことができる。	

<p>一 学 期</p>	<p>○小説 『星の花が降るころに』</p> <p>○物語 『大人になれなかった弟たちに……』</p> <p>○シカの「落ち穂拾い」 フィールドノートの記録から</p> <p>○言語『漢字の音訓』</p> <p>○文の組み立て（文の成分） ○言語 『指示する語句と接続する語句』</p> <p>○和歌『いろは歌』</p> <p>○古文『月に思う』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動や情景描写から、登場人物の心情を読みとることができる。 ・作品の背景（戦争）を考えながら、家族の在り方などを通して作品に興味を持つようとしている。 ・記録文にふれる。 ・図や表から読み取る。 ・部首、音読み、訓読みを知ることができる。 ・文節の役割を見分け、文節と文節の関係を理解することができる。 ・『指示する語句』により、内容と内容のつながりを理解している。 ・文章を書く際に、適切な『接続する語句』を用いることができる。 ・「いろは歌」の特徴を理解している。 ・古文に親しめる。
<p>一 学 期</p>	<p>○古文物語『蓬萊の玉の枝』</p> <p>○漢文『今に生きる言葉』</p> <p>○説明文『幻の魚は生きていた』</p> <p>○話す『話題をとらえて話し合おう』</p> <p>○書く 『根拠を明確にして魅力を伝えよう』</p> <p>○言語『言葉の関係を考えよう』</p> <p>○言語『書写』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「竹取物語」冒頭部分を暗記し、古典文学に関心を持つことができる。 ・歴史的仮名遣いや言葉遣い、古語の意味を理解している。 ・当時の文化に興味を持つようとしている。 ・「故事成語」とは何かを理解し、調べ、使えることができる。 ・文章の構成を理解し、要旨をまとめることができる。 ・討論、報告 ・作品を鑑賞し、その魅力が伝わるように根拠を明確にして文章にまとめられる。 ・文節どうしの関係・連文節・文の組み立てについて理解できる。 ・手本を参考に、自分の作品を作ることができる。
<p>二 学 期</p>	<p>○小説『少年の日の思い出』</p> <p>○言語『さまざまな表現技法』</p> <p>○言語『漢字の成り立ち』</p> <p>○言語『単語の性質を見つけよう』</p> <p>○話す・聞く『私が選んだこの一冊』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間・場所・出来事などに着目して、作品の構成や展開、登場人物の心情の変化等をとらえようとしている。 ・いろいろな表現技法を理解できる。 ・漢字の構成部分の違いを理解し、成り立ちや意味を考えることができる。 ・単語の分類、品詞、体言と用言の違い等について理解できる。 ・本を紹介し合うことで、ものの見方や考え方を広げることができる。

大池中学校	1 学年	社会
-------	------	----

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p><地理的分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、地理的事象に関する知識と理解を深める。 <p><歴史的分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、歴史的事象に関する知識と理解を深める。
使用教材	<p>教科書：中学生の地理（帝国書院）、新しい社会 歴史（東京書籍）、小学社会 6年下（日本文教出版） 地図帳：中学校社会科地図（帝国書院） 地形図：四日市市・三重郡全図、四日市市・三重郡文化財地図（帝国書院） 副教材：アクティブ地理（浜島書店）、学び考える歴史（浜島書店） 問題集：社会の自主学習 地理①（新学社）、社会の自主学習 歴史①（新学社）</p>

2. 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
①社会的事象への関心・意欲・態度	<p><地理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の地理的事象に対する関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。 <p><歴史></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の歴史的事象に関心を持ち、意欲的学習に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度（忘れ物・発言を含めて） ・提出物（ワーク、プリント、ノート） ・自由研究 ・定期テストや単元テスト
②社会的な思考・判断・表現	<p><地理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の諸地域を比較し、関連付けて考察し、公正に判断することができる。 <p><歴史></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象から課題を見つけ、その因果関係をとらえ、広い視野から公正に判断できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取組（発言を含めて） ・提出物（ワーク、プリント、ノート） ・自由研究 ・定期テストや単元テスト
③資料活用の技能	<p><地理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料を適切に選択、活用して、地理的事象を多面的・多角的に考察し適切に表現できる。 <p><歴史></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種資料に親しみ、効果的に活用するとともに、考察した結果をまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み（発言を含めて） ・提出物 ・自由研究 ・定期テストや単元テスト
④社会的事象についての知識・理解	<p><地理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的事象について理解し、その知識を正しく身につけている。 <p><歴史></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的事象について理解し、その知識を正しく身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト

3. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none">• 授業に必要なものを忘れずに準備しておこう。まずは「良い準備」を日ごろから意識しよう。• 自分の意見を持ち、積極的に発表しよう。• 先生の話や友達の意見をしっかり聞こう。• 様々な資料（地図・図絵・表・グラフ・史料など）をじっくり読み、わかることを考えよう。• 班での話し合いや作業の時間を大切にしよう。• わからないことは積極的に質問しよう。
家庭	<ul style="list-style-type: none">• 学習した範囲を教科書やノート、プリントやワークブックでくり返し復習しよう。• わかったことを自分のことばでノートにまとめよう。• わからない用語は自分で教科書や資料集を使って調べよう。• 毎日、ニュースや新聞をチェックするようにしよう。

4. 学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学年 1 学期	<p>3世界のなかの日本とわたしたち</p> <p>第1部 世界のさまざまな地域 1章 「世界の姿」</p> <p>第2部 日本のさまざまな地域 4章 「身近な地域の調査」 ・三泗の地形図 (2万5千分の1の地形図)</p> <p>第1部 世界のさまざまな地域 2章「世界各地の人々の生活と環境」</p>	<p>小学校からの未履修部分であり、用語の確認、補充プリントは配布済み。今後1年生の地理、3年生の公民で学習する内容であり、今後の学習内容を確認しようとしている。</p> <p>①世界の地域構成の基本的な枠組みについて関心を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>②世界の地域構成を緯度と経度、大陸と海洋の分布、おもな国々の名称と位置、地域区分などをもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③地球儀や世界地図に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。世界の地域構成をふまえて大まかに世界の略地図を描いている。</p> <p>④世界の地域構成について、緯度と経度、大陸と海洋の分布、おもな国々の名称と位置、地域区分などを理解し、その知識を身につけている。</p> <p>①身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>②身近な地域の地理的事象から課題を見だし、身近な地域の調査を行う際の視点や方法をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を地理的なまとめ方や発表の方法により適切に表現している。</p> <p>③身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。</p> <p>④身近な地域の調査について、地域的特色や地域の課題とともに、身近な地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>①世界各地の人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。</p> <p>②世界各地の人々の生活と環境の多様性を自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活のようすとその変容をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>④世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連づけた人々の生活のようすと変容を理解し、その知識を身につけている。</p>

1 学 年 2 学 期	3章 「世界の諸地域」	<p>① 世界の諸地域の地域的特色に関する関心を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>②世界の諸地域の特色を各州にくらす人々の生活のようすを的確に把握できる主題をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③世界の諸地域の地域的特色に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>④世界の諸地域について、各州にくらす人々の生活のようすを的確に把握できる主題をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。</p>
	4章 「世界のさまざまな地域の調査」	<p>①世界のさまざまな地域の調査とその地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>②世界のさまざまな地域の地域的特色をとらえる適切な主題を設定し、世界のさまざまな地域の調査を行う視点や方法をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③世界のさまざまな地域の調査とその地域的特色に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>④世界のさまざまな地域の調査について、地域的特色とともに、世界のさまざまな地域の調査を行う際の視点や方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	第1章 「歴史のとらえ方」	<p>① 日本の歴史の大きな流れや時代の特色に対する関心を高め、意欲的に学習している。</p> <p>② 日本の歴史の大きな流れや時代の特色を考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③ 日本の歴史の大きな流れや各時代の特色に関する様々な資料を収集し、適切に選択してその過程や結果をまとめている</p> <p>④ 時代の大きな移り変わりに気付くとともに、年代の表し方や時代区分について理解している。</p>
	第2章 「古代までの日本」 1 節 「文明のおこりと日本の成り立ち」 2 節 「古代国家の歩みと東アジア世界」	<p>①世界の古代文明や宗教のおこりに関心を高め、古代までの日本の大きな流れについて意欲的に追究しているとともに、現代に残る古代の文化遺産に関心を高め、それらを尊重しようとしている。</p> <p>②古代文明の特色や宗教のおこり、日本列島における人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現するとともに古代までの日本の大きな流れについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③古代における国家の形成、天皇・貴族の政治の展開のあらましや文化などについて、様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>④日本列島における人々の生活の変化、古代国家の形成のあらましについて、東アジアを中心とした世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けているとともに古代における文化の特色について、東アジアとかわらせて理解し、その知識を身に付けている。</p>

1 学 年 3 学 期	<p>第3章 「中世の日本」 1 節 武士の台頭と鎌倉幕府 2 節 東アジア世界とのかかわりと社会の変動</p>	<p>①武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかかわりに対する関心を高め、意欲的に学習している。日本の伝統文化に対する関心を高め、今日に残る中世の文化や文化財を尊重しようとしている。</p> <p>②武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかかわり、文化の特色などについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③中世の政治の展開、経済の発達と社会の変化、文化の広がりに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>④武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長を東アジア世界とのかかわりを背景に理解し、その知識を身に付けている。また中世の文化の特色と、その中に現在に結びつくものがみられることに気づき、その知識を身に付けている。</p>
	<p>第4章 「近世の日本」 1 節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一</p>	<p>①近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に対する関心を高め、意欲的に追究している。武将や豪商の文化、町人文化や各地方の生活文化に対する関心を高め、今日に残る文化的遺産を尊重している。政治・経済・外交・文化などの面で活躍した近世の人物に対する関心を高め、その生涯や業績を調べている。</p> <p>②近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開から課題を見だし、世界の動きと時代の特色とを関連させて多面的・多角的に考察し公正に判断している。産業・交通の著しい発達と政治や文化の動きとの関連を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に関する図版、史料、年表、歴史地図などの様々な資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。近世の日本の動きを政治・経済・外交・文化などの項目に分けて、情報を適切に選択して年表などにまとめている。</p> <p>④近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開を、日本の歴史とかかわる世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。産業・交通が著しく発達し、町人文化や各地方の生活文化が形成されていった様子を身近な地域の歴史的事象との関連で理解し、その知識を身に付けている。</p>

大池中学校	1 学年	数 学
-------	------	-----

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>(1) 数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることや方程式の必要性和意味を理解するとともに、数量の関係や法則などを一般的にかつ簡潔に表現して処理したり、一元一次方程式を用いたりする能力を培う。</p> <p>(2) 平面図形や空間図形についての観察、操作や実験などの活動を通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を培う。</p> <p>(3) 具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。</p> <p>(4) 目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を培う。</p>
使用教材	<p>教科書：未来へひろがる数学1（啓林館）</p> <p>問題集：ベーシックマスター（進学社） 完成問題集（三泗中学校数学研究会）、</p> <p>レポート学習（正進社）</p>

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 数学への関心・意欲・態度	様々な事象を数量や図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに興味をもち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする。	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の取り組みの様子 提出物や宿題 ノートの記述 <p style="text-align: right;">など</p>
② 数学的な見方や考え方	数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での発言やノート内容 定期テストや小テスト <p style="text-align: right;">など</p>
③ 数学的な技能	正の数と負の数の四則計算ができ、数量の関係や法則を方程式などを用いて表現し処理したり、基本的な図形の作図や図形の計量をしたり、関数関係を的確に表現したり、資料を整理したりするなど、技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での発言やノート内容 定期テストや小テスト <p style="text-align: right;">など</p>
④ 数量や図形などについての知識・理解	正の数と負の数、文字を用いることの必要性和意味、一元一次方程式、平面図形についての性質や関係、空間における図形の位置関係、関数関係や比例・反比例、ヒストグラムや代表値などを理解し、知識を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での発言やノート内容 定期テストや小テスト <p style="text-align: right;">など</p>

3. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> 授業中は先生の話や友達の意見をしっかりと聞こう。 疑問に思ったことや理解できなかったことは、授業の中で解決できるように質問しよう。 グループでの学習に積極的に参加し、疑問を解決するなど、理解を深めるようにしよう。 <p>・問題集の提出が期日に間にあいそうにない時や、わからない問題が多い時は、先生に相談しに来てください。解説や解答を写すだけの勉強にならないように問題量等を調節します。</p>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> わからない問題は解説や答えを参考にして学習を進めましょう。 『ベーシックマスター』：授業の進度にあわせて日々の授業で提出 『完成問題集』：定期テストのテスト日に提出 『レポート学習』：ゴールデンウィーク・夏休み・冬休み・春休み後に提出。勉強に余裕のある人は、日々の学習に組み込みましょう。定期テストに類似問題を出題する予定です。 間違えた問題の解答の上に付箋（ふせん）等を貼り、正答の解き方を写したり解き直したりすると力がつきます。

4. 学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
4月～7月上旬	第1章「正の数・負の数」 1節 正の数・負の数 2節 正の数・負の数の計算 3節 正の数・負の数の利用 a 素数の積で表すこと	①様々な事象を正の数と負の数でとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。 ②正の数と負の数についての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 ③正の数と負の数の四則計算をしたり、正の数と負の数で表現したり、その意味を読み取ったりするなど、技能を身に付けている。 ④正の数と負の数の必要性和意味及びその四則計算の意味を理解し、知識を身に付けている。
7月中旬～8月	第2章「文字の式」 1節 文字を使った式 2節 文字式の計算 等式・不等式	①様々な事象を文字や文字を用いた式でとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。 ②文字や文字を用いた式についての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 ③文字を用いた式で表現したり、その意味を読み取ったり、文字を用いた式で乗法や除法を表したり、簡単な一次式の加法と減法の計算をしたりするなど、技能を身に付けている。 ④文字を用いることの必要性和意味を理解し、知識を身に付けている。
9月～10月上旬	第3章「方程式」 1節 方程式 比例式 2節 方程式の利用	①様々な事象を方程式でとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。 ②方程式についての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 ③簡単な一元一次方程式を解くことができる技能を身に付けている。 ④方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解し、知識を身に付けている。
10月中旬～11月上旬	第4章「変化と対応」 1節 関数 2節 比例 3節 反比例 4節 比例、反比例の利用	①様々な事象を比例、反比例などでとらえたり、表、式、グラフなどで表したりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。 ②比例、反比例などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 ③比例、反比例などの関数関係を、表、式、グラフなどを用いて的確に表現したり、数学的に処理したりするなど、技能を身に付けている。 ④関数関係の意味、比例や反比例の意味、比例や反比例の関係を表す表、式、グラフの特徴などを理解し、知識を身に付けている。
11月中旬～12月	第5章「平面図形」 1節 直線図形と移動 2節 基本の作図 3節 円とおうぎ形	①様々な事象を平面図形でとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。 ②平面図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 ③基本的な作図をしたり、図形の計量をしたりするなど、技能を身に付けている。 ④平面図形についての性質や関係、基本的な作図の方法、平行移動や対称移動及び回転移動、図形の計量の仕方などを理解し、知識を身に付けている。
1月～2月中旬	第6章「空間図形」 1節 立体と空間図形 2節 立体の表面積と体積	①様々な事象を空間図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。 ②空間図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 ③空間図形を見取図、展開図、投影図によって適切に表現したり、図形の計量をしたりするなど、技能を身に付けている。 ④空間図形についての性質や関係、空間における図形的位置関係、図形の計量の仕方などを理解し、知識を身に付けている。
2月下旬～3月	第7章「資料の活用」 1節 資料の傾向を調べよう ■ 累積度数 b節 データにもとづく確率	①様々な事象についての資料を収集して整理したり、ヒストグラムや代表値などを用いてその傾向を読み取ったりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。 ②ヒストグラムや代表値などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 ③資料を表やグラフに整理したり、代表値を求めたりするなど、技能を身に付けている。 ④ヒストグラムや代表値の必要性和意味、相対度数の必要性和意味、誤差や近似値の意味などを理解し、知識を身に付けている。

1. 学習のねらい

学習のねらい	理科 の 目 標	<p>①自然の事物や現象に対して関心を持ちましょう。 ②目的意識をもって観察や実験を行い、科学的に調べる能力を身につけましょう。 ③自然の事象や現象について理解を深めましょう。 ④科学的な見方や考え方を身につけましょう。</p>
<p>理科学習のねらいは皆さんが自然の事物や現象に関心を持ち、その中から問題を見つけ、探求活動を通して、「自分の力で解決する力」を持つようになることです。観察や実験の</p>		
使用教材	<p>教科書：未来へひろがるサイエンス1 と 移行用補助教材（啓林館） 付録マイノート（啓林館） 補助教材：よくわかる理科の学習（明治図書）、理科便覧（浜島書店）</p>	

2. 評価観点および方法

	評価の観点	評価の方法
①自然事象への関心・意欲・態度	自然の事象・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求するとともに、事象を人間生活との関わりでみようとす。	○発表 ○宿題や提出物 ○授業への取り組み方 ○ノート
②科学的な思考・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、目的意識を持って観察、実験などを行う。事象を理論的に考えたり、分析的、総合的に考察し、表現する。	○実験レポート ○自由研究 ○定期テスト ○ノート ○発表
③観察・実験の技能	観察、実験の基本操作を習得するとともに、自然の事物・事象を科学的に探求する方法を身につけ、それらの過程や結果、そこから導き出した考えを的確に表現する。	○パフォーマンステスト ○観察、実験レポート ○課題研究、自由研究 ○観察・実験での活動の様子 ○定期テスト ○実験の準備物
④自然事象についての知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	○定期テスト ○小テスト ○発表

3. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	<p>○チャイムまでに、授業の準備をして、着席する。理科室では、静かな雰囲気をつくる。 ○授業中は先生の話だけでなく、友達の意見も集中して聞こう。 ○身のまわりの自然や事物・現象を不思議だなという目で見て、疑問や問題を持って、単元のぞもう。 ○グループ活動には積極的に参加し、自分の考えと友達の意見から理解を深め、自分の言葉で表現できるようにしよう。 ○観察や実験の結果からわかったことを自分の言葉でまとめてみよう。</p>
	家庭	<p>○授業で進んだ範囲は、その日のうちに復習をしよう。（教科書、ノートを見なおす） ○進んだ範囲の内容を理科の完全学習（問題集）によって、復習する。 ○1週間の内容を教科書、ノート、「理科の完全学習」を使って、週末に再度復習しよう。 ○テストや問題集で間違えた問題は、再度出題されたら必ず解けるようにしっかりと理解しておく。 また、なぜ間違えてしまったのかも考えよう。 ○ワークなどの提出物は、提出期限を必ず守れるようにしよう。 ○興味、関心を持った事象について、自ら調べてみよう。</p>

4. 学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 期	(小学校6年生の内容) 自然とともに生きる ・生物どうしのつながり ・私たちの暮らしと環境	①人間の生活が自然環境に及ぼす影響について考え、調べようとする。 ①科学技術がわたしたちの生活にもたらした利便性や豊かさに関心を持ち、進んで調べようとする。 ②地球規模でのさまざまな環境問題を理解し、自然界のつり合いを保つ必要性を考えることができる。 ④様々な環境問題について理解し、知識を身につけている。 ④気象災害や防災、水資源の恵みについて、正しく理解する。 ④新しい科学技術にはどのようなものがあるか理解し、知識を身につけている。
	身近な自然に目を向けてみよう [生命] 植物のくらしとなかま 植物という「いきもの」 1章 花のつくりとはたらき 2章 水や栄養分を運ぶしくみ 4章 植物のなかま分け A章 動物のなかま 	①身近な植物や動物に興味を持ち、意欲的に調べようとする。 ③適切な方法で観察記録をまとめることができる。 ④ルーペや顕微鏡の各部の名称や使い方を説明することができる。 ①いろいろな水中の生物を意欲的に顕微鏡観察しようとする。 ③顕微鏡を正しく操作し、その結果を正しくレポートにまとめることができる。 ④水中の微生物の名前や動物・植物の区別を説明することができる。 ①いろいろな花に興味を持ち、意欲的に調べようとする。 ③花を順序よく分解し、スケッチし整理することができる。 ③花のめしべの断面や花粉などをルーペや顕微鏡で観察することができる。 ②観察記録をもとに、花のつくりの共通点や相違点を見い出すことができる。 ②果実や種子のでき方を花のつくりと関連づけて考えることができる。 ④被子植物の花の基本的なつくりを説明することができる。 ④めしべの子房が果実に、胚珠が種子になること、花がなかまをふやすための器官であることを説明することができる。 ②マツの花のつくりを理解することができる。 ④被子植物と裸子植物の花のつくりの違いと共通点を説明することができる。 ④上から見ると、葉が互い違いに重なり合わないようについていることを理解している。 ②葉のつき方の共通点や相違点をあげ、日光と関連づけて考えることができる。 ①いろいろな植物のなかま分けを意欲的に行おうとする。 ④双子葉類・単子葉類について、根・維管束・葉脈の特徴から説明することができる。 ④植物を分類するときの手がかりとなる適切な観点をあげることができる。 ④種子で増えない植物について理解することができる。 ①身近なせきつい動物に関心を持ち、その生活の仕方や特徴について調べてみようとする。 ②④体のつくりや子の産まれ方などの特徴を比較し、せきつい動物をいくつかの仲間に分類できる。 ④無せきつい動物の体のつくりや生活の仕方の特徴を説明することができる。
2 学 期	[エネルギー] 光・音・力による現象 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象 	③光源装置、鏡、分度器を使って、入射角を変えたときの反射角の大きさを測定できる。 ②④実験結果をもとに入射角と反射角の関係を科学的に考察することができる。 ③光源装置、半円形レンズ、分度器を使って、入射角を変えたときの屈折角の大きさを測定できる。 ②④実験結果をもとに入射角と屈折角の関係を科学的に考察することができる。 ④光が水中から空気中に進むときの規則性、そして、ある角度を越えると全反射が起こることを理解する。 ③凸レンズによってできる像の形や大きさを調べる実験の基本操作ができ、物体と凸レンズの距離によって変わっていくことを記録することができる。 ③凸レンズの像のでき方を作図で表すことができる。 ④凸レンズによる像のでき方の規則性を理解する。 ②共鳴音さの実験などから音を伝えるには振動するための空気などが必要であることがわかる。 ③音の速さを調べる実験を行い、音のおよその速さを見い出すことができる。 ②③振動の仕方と音の関係を調べる実験を行い、音の大小や高低と振動の仕方とがどのような関係にあるか記録することができ、説明することができる。 ②③物体の重さとばねののびの関係を調べる実験を行い、結果をグラフにすることができ、その関係を説明できる。 ③力の表し方を理解し、力を矢印で作図することができる。 ④2力のつり合いについて理解し、知識を身につけている。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 学 期</p>	<p>〔物質〕 身のまわりの物質</p> <p>1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化</p>	<p>③ガスバーナーを正しく使い、物質の性質を適切に調べることができる。 ②④実験の結果から有機物と無機物の違いについて説明することができる。 ③物質の性質を磁石や電気を使って適切に調べることができる。 ③④プラスチックの種類とその性質について、実験をもとに説明できる。 ②④実験の結果から金属と非金属の違いについて説明できる。 ③てんびんやメスシリンダーなどを正しく使い、質量や体積を求めることができる。 ④密度について理解できる。 ③融点や沸点の測定の実験を正しく行い、グラフなどでまとめることができる。 ②④測定結果から物質が何であるかを推測でき、状態変化について説明できる。 ③④蒸留の実験装置を正しく組み立て適切に実験することができ、蒸留について説明することができる。 ②③水溶液から溶質を取り出す実験を正しく行い、結晶の形から物質を区別することができる。 ②溶解度曲線から物質の出てくる順番を推測できる。 ③④酸素、二酸化炭素、水素、アンモニアの発生や捕集の実験操作を正しく行い、その性質を理解する。 ②③アンモニアの噴水実験の原理をアンモニアの性質と関連付け説明できる。 ②③未知の気体を調べる実験を正しく行い、発生した気体が何であるかを特定することができる。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 学 期</p>	<p>〔地球〕 活きている地球</p> <p>1章 大地がゆれる 2章 大地が火をふく 3章 大地は語る</p>	<p>③地震計の記録から等発震時曲線を書くことができる。 ②③地震の記録から初期微動や主要動、初期微動継続時間などをグラフ化し、その意味を説明することができる。 ④地震のゆれの強さや規模は震度やマグニチュードで表されることを理解する。 ④日本の周辺で起こる地震の特徴を理解する。 ②④マグマの性質と火山の形、噴火の様子、噴出物との関係を推測し、その特徴を理解する。 ②③火成岩の組織や鉱物を観察し、その特徴から火山岩、深成岩を分類することができる。 ④火山岩と深成岩の組織の違いをそのでき方から関連付けて考えることができる。 ④流水のはたらきを理解する。 ③たい積岩を観察し、その特徴を記録できる。 ④地層を比較する鍵となる化石、火山灰について理解する。 ④地層の広がり方、粒の大きさの違いに注目し、時間的・空間的に理解する。 ③④大地が隆起、沈降することによってできる地形を実習から理解する。 ④断層やしゅう曲などのようすから大地が過去に力を受けたことを理解する。 ①日本付近に火山や地震が集中していることに関心を持ち、その原因を調べようとする。 ④地層や地形に見られる土地の変動はプレートの動きが原因であることを理解する。 ②自然からの恩恵と災害について正しく考えることができる。</p>



大池中学校	1 学年	音楽
-------	------	----

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化について理解を深め、豊かな情操を養う。</p> <p>○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。</p> <p>○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。</p> <p>○多様な音楽のよさを理解し、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。</p>
使用教材	<p>教科書：中学生の音楽1（教育芸術社）、中学生の器楽（教育芸術社）</p> <p>補助教材：合唱曲集「MY SONG」（教育芸術社）</p>

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
1 音楽への 関心・意欲・ 態度	<ul style="list-style-type: none"> 忘れ物、遅刻をせず、積極的に授業に参加している。 正しい姿勢で集中して話を聞き、大事なことを書きとめたりしている。 クラスの合唱をよりよくするためにパート練習や全体練習に意欲的に取り組んでいる。 歌詞をきちんと覚え意欲的に歌おうとしている。 箏に関心を持ち演奏することができる。 楽器や演奏の形態に興味を持って鑑賞している。 	<ul style="list-style-type: none"> 準備物の状況 毎回の授業の態度、姿勢 課題への取り組み 授業中の発言内容 楽譜への書き込み記入 定期テスト、歌詞テスト 実技テストへの取り組み 鑑賞中の態度
2 音楽表現の 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱の際の声の響き、発音、発声に気を付けて取り組もうとしている。 歌唱の際に曲に合った表現を工夫しようとしている。 ブレス、アーティキュレーション等を意識して歌唱しようとしている。 他の声部を聴きながら歌おうとしている。 箏の演奏方法を工夫して響きのある音で演奏しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題への取り組み パート練習、全体練習での様子 歌唱の際の響き、発声の様子、発音の工夫 歌詞にあった表現の工夫 実技テスト、定期テスト
3 音楽表現の 技能	<ul style="list-style-type: none"> 発声、音程、リズムを正確に歌唱することができる。 音楽記号、用語を理解し、楽譜の指示を読み取って正しく演奏することができる。 楽曲に合った表現を工夫することができる。 正しい奏法で箏を演奏することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> パート練習、全体練習での様子（音程、リズム、表現） 表現の豊かさ 実技テスト
4 鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> 範唱、範奏、仲間の演奏や発表を熱心に聴くことができる。 楽曲の時代背景を理解し、作曲者の意図や心情を感じ取り、曲からのイメージをふくらませて聴くことができる。 楽器に興味を持って鑑賞することができる。 日本の伝統音楽に親しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞中の態度 鑑賞の記録 定期テスト

3. 学習方法についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> チャイムが鳴るまでに音楽室に移動し、着席してすぐに授業に取り組める準備をしよう。 歌唱は恥ずかしがらず、大きな声で歌えるようにしよう。 男子は変声期で音域が狭くなり思うように歌えない時期になるが、自分の出しやすい音域で無理のない発声を心がけよう。周囲の人も温かく見守ろう。 正しい音程、正しいリズムで演奏できるようになるために、楽譜をしっかりと見る習慣をつけよう。 授業中、楽曲の演奏に関するアドバイスは、そのつど楽譜に書きとめておこう。 記号や語句についての説明は、きちんとメモを取り、その場で覚えていこう。 パート練習や全体練習に意欲的に取り組もう。 鑑賞曲については文化や歴史とかかわらせて聴くようにしよう。
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> 授業で習った楽曲の、旋律や歌詞を確認し、暗譜で歌えるようにしよう。 授業で習った楽曲、音楽記号や語句を復習し、しっかりと覚えておこう。 口の開け方など鏡を見て研究しよう。

4. 学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
6月	合唱「大池中学校校歌」 ・正しい姿勢と発声法 ・楽譜の読み方 ・音符の成り立ち 鑑賞 「四季より春」 ・弦楽合奏と楽器について ・曲の情景の想像 ・ソネットの表現の工夫について ・作曲者、バロック音楽について 混声2部合唱 「朝の風に」 ・音楽記号について ・拍子、指揮について ・パートの役割 ・響きのある発声 ・曲想の工夫	《全学期共通》 ①・遅刻・忘れ物をせず毎回の授業に意欲的に取り組むことができる。 ・正しい姿勢で練習に取り組むことができる。 ・授業中に意欲的に発言することができる。 ・実技テスト、定期テスト、歌詞のテスト等に意欲的に取り組むことができる。 ・授業で指示したことを楽譜に記入している。 ・楽器、演奏形態に興味を持って鑑賞することができる。 ・課題に意欲的に取り組むことができる。 ②・しっかりした声で歌うことができる。 ・曲に合った表現を考えることができる。 ・歌詞の意味を考え、言葉を大切にしながら歌うことができる。 ・他の声部を意識しながら歌うことができる。 ・正しいブレスの位置、強弱を意識しながら歌うことができる。 ・余韻を大事にしながら箏の演奏をすることができる。
9月	「混声3部合唱」 ・歌詞に合った表現の工夫 ・歌詞と旋律のかかわり ・響きのある発声 ・曲想の変化 ・ハーモニーの美しさ	③・正しい姿勢で演奏することができる。 ・正しい音程やリズムで楽譜通りに、演奏することができる。 ・アクセントやリズム、記号を理解して、演奏することができる。 ・大きな口を開けて、しっかりした声で歌うことができる。 ・正しい奏法で箏を演奏することができる。
11月	鑑賞 「魔王」 ・詩から想像できる情景 ・伴奏の役割について ・作曲者、ロマン派の音楽とリートについて	④・集中して鑑賞することができる。 ・鑑賞曲を聴いて、感じたことやわかったことを自分の言葉で表現することができる。 ・鑑賞曲を聴いて、作曲者の心情を感じ取ることができる。 ・曲のイメージをふくらませて聴くことができる。 ・楽曲の構成や作曲家についての詳細、歴史的背景を理解することができる。 ・箏曲の鑑賞を通して日本の伝統音楽に親しむことができる。 ・仲間の演奏を聴いて良いところを探すことができる。
12月	箏の演奏 「さくら」 ・楽器について ・箏の調弦、奏法 ・読譜の仕方 鑑賞 箏曲「六段の調」 ・作曲者と楽曲の時代背景について ・楽器の独特な旋律、音色 ・奏法の特徴について 混声3部合唱「大切なもの」「明日へ」 ・表現の工夫 ・ハーモニーの美しさ ・曲想の理解 ・歌詞に合った表現の工夫 ・歌詞と旋律のかかわり ・響きのある発声 卒業式に向けての取り組み ・「国歌」、「校歌」	

大池中学校	1 学年	美術
-------	------	----

1 学習のねらい

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 ○ 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 ○ 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高めよさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。
使用教材	教科書：日本文教出版「美術 1」、資料集：秀学社「美術資料」、デザインセット、鉛筆、ねり消し、色鉛筆、ケント紙

2 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
美術への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術的な活動に関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている」 ・楽しく生き生きと表現しようとしている。 ・向上しようとして創意工夫し努力しようとしている。 ・鑑賞することを楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【授業中の発言、態度】【資料の収集、提出物】【活動状況】【振り返りシート】【定期テスト】 ・自分から積極的に、かつ粘り強く学習に取り組もうとしている。 ・期限内にきちんと仕上げ提出ができる。 ・準備物や用具の取り扱い、片付けができる。
発想や構想の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・「感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどをもとに、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をすることができる」 ・自分らしく生き生きとした表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【作品制作の下絵（アイデアスケッチ）など】【デッサンの構図】【途中作品や完成作品】 ・自分のイメージをさまざまな角度から考えることができる。 ・イメージしたものを表現することができる。
創造的な技能	<ul style="list-style-type: none"> ・「表現の技能を身に付け、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表すことができる」 ・美しく創造的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【制作過程の中での材料や用具の使い方】【途中作品や完成作品】【定期テスト】 ・さまざまな表現を工夫し、より良いものに創意工夫することができる。 ・材料や用具の特性を生かし、表現することができる。
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・「作品に親しみ、感性や想像力を働かせて、よさや美しさを感じとったり味わったり、理解したりできる」 ・いろいろな見方や感じ方や発想の仕方、知識等を学びとり、多様な表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り味わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【授業中の発言、発表】【感想文】【振り返りシート】【定期テスト】 ・作品を鑑賞し、よさや美しさを感じとることができる。 ・作者の思いや意図を感じとることができる。 ・自他の作品の良いところを見つけ、自分の作品制作に活かすことができる。

3 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、先生の話をよく聞いて作品づくりに取り組もう。 ・しゃべりながら制作しない。（制作する姿勢が作品に表れます。本当によい作品は真剣な制作態度から生まれます。じっくりと集中し落ち着いて取り組もう） ・美術の教科書や資料集などで興味のある作家や作品を見つけよう。 ・普段から、ものをよく見ること。（見ることから美術は始まります） ・準備、かたづけを時間内にきちんと行い、制作時間を確保しよう。 ・期限内に作品を完成させ、提出物は期日を守ろう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・作品のヒントになる資料を集めよう。 ・忘れ物のないように準備物をきちんと用意しておこう。 ・テスト前はプリントや参考資料を活用し、デッサンの練習をおこう。 ・家庭学習を行い、テスト対策をしておこう。 ・美術館へ行ったりして、本物の作品を見て感性をみがいておこう。

4 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 期	<p>◇オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術の授業に対する心構えと授業のルール ＜規律ある態度・約束や決まりを守る＞ <p>絵画</p> <p>鉛筆を使って～明暗の基本～</p> <p>◇デッサン（ティッシュボックス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明暗法の練習，立体感のつけ方 	<p>①作活動への興味・関心をもち，意欲的に取り組む姿勢を身につけようとしている。</p>
	<p>◇デッサン（コップ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明暗法の練習，立体感のつけ方 	<p>①デッサンに意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>②自分で考え，各種の鉛筆を活用し明暗が表現できている。</p> <p>②画面の中に，バランスよく描くことができる。</p> <p>③光の方向を理解し，立体的に明暗をつけることができる。</p>
	◇鑑賞	①④時代背景を理解し作者の思いや制作意図を理解することができる。
	◇デザイン（レタリング）	①レタリングに意欲的に取り組もうとしている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「名前」の制作 	③対象の特徴をとらえて発想し，構成している。
		①④作品に親しみ，感性や想像力を働かせて，よさや美しさを感じとったり味わったり，理解したりできる。
2 学 期	◇デザイン（色の整理）	②色の決まりや名称を理解し整理できる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「名前」の着色 （配色・着色） 	②③表現する内容に合わせ，効果的な配色ができる。
		④作品を鑑賞し，それぞれの発想や構想のよさ，表現の工夫を味わうとともに，作品のよさや美しさを感じ，自己の表現に生かしている。
	◇鑑賞	④クラスメイトの作品を鑑賞し，それぞれの発想や構想のよさ，表現の工夫を味わうとともに，作者の意図を理解したりできる。
	◇デザイン	①ミラーボックスの制作に意欲的に取り組もうとしている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ミラーボックス 	②資料をもとに効果的な表現を構想することができる。
		②伝えたい内容を視覚的に印象的に伝える工夫することができる。
		②③鏡の反射を効果的に利用して作品を作ることができる。
		③表現する内容に合わせ，効果的な配色ができる。
3 学 期	◇鑑賞	④クラスメイトの作品を鑑賞し，それぞれの発想や構想のよさ，表現の工夫を味わうとともに，作者の意図を理解したりできる。
	（◇絵画（鉛筆デッサン））	①鉛筆デッサンに意欲的に取り組もうとしている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・スリッパ 	②③対象の特徴をとらえて発想し，構成している。
		②③構造を理解し，立体感や質感をだしている。

大池中学校	1年男子	保健体育
-------	------	------

1. 学習のねらい

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○健全な『からだ（身体）』と『こころ（精神）』を培う。 ○技能・体力の向上をはかり、運動を行うためのルール・知識を身につける。 ○自ら学び、まわりとつながり、ともに学びあう態度を養う。 ○自他の健康・安全に留意し、生活する習慣を身につける。 ○運動に親しみ、生涯スポーツを通して、豊かな生活をおくる態度を身につける。
使用教材	教科書： 新しい保健体育（東京書籍） 補助教材： ワンダフルスポーツ（新学社）・学習ノート（中学保健体育ノート 大修館）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
○関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自らすすんで運動の楽しさや喜びを得ようとする。 ・心身の健康や安全に関心をもち、健康で安全な生活を実現するため、すすんで学習に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①約束やきまりを守る（服装・忘れ物・遅刻・見学・欠席） ②積極的に授業に参加する ③準備や後片付けをすすんで行なう ④毎回の取り組み・課題（ウォーミングアップ、補強運動など）をしっかりとできる
○思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性に応じて、能力に応じた課題解決をめざし、考え工夫している。 ・心身の健康や安全に関する課題解決をめざし、適切に判断し、行動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤自分で考え、ふりかえり、次に活かすことができる ⑥学習カードなどに工夫したことや授業の気づきを記入することができる ⑦健康・安全に対する配慮ができる
○運動の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・能力に応じた課題解決をめざし、運動を行い、技能を身につけている。 ・体力を高めるために運動の合理的な行い方を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧実技テスト ⑨技能の伸長 ⑩授業のようす（授業を通しての技能レベル）
○知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性と学習方法に関する知識を理解し、身につけている ・健康・安全に関する知識を理解し、身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑪定期テストの正答率 ⑫授業中の学習内容の理解（ルール、ポイントなど）ができています。

3. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ①ベル席をきちんと守ろう。チャイムと同時に授業が始められるようにしよう。 ②服装を整え、準備運動にもきちんと取り組もう。 ③姿勢よく話を聞けるようにしよう。 ④準備や後片付けにすすんで取り組もう。 ⑤どんな種目にも学習（練習）に自分からすすんで取り組もう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の体力向上のために、自宅のできるトレーニングをやってみよう。 ②健康なからだを保つために食事・睡眠を十分確保しよう。 ③運動に関する興味・関心・意欲向上のため、日頃から様々なスポーツに関する情報に目や耳を傾けよう。

4. 学習計画

	単元	主な学習内容と評価の具体例
1学期	(1) 体づくり運動① (2) 陸上競技 (3) バレーボール	(1) 準備運動、集団行動の意義を理解し、毎回の活動がきちんとできる (2) 各種目（ハードル、高跳び、幅跳び、ハンドボール投げ）の記録、技能 (3) 基本的なサーブ・パスの技能、ゲーム中の技能
2学期	(4) 体づくり運動② (5) マット運動・跳び箱 (6) 柔道 (7) 長距離走	(4) 体育祭の練習、リレー 基本的な技能の習得と意欲的にできる (5) マット運動・跳び箱の基本的な技能の習得 (6) 礼法、受け身、基本的な技の習得 (7) 1500mの記録
3学期	(8) サッカー	(8) 基本的なパス・ドリブル・シュートの技能、ゲーム中の技能 基本的なルールの理解、ゲーム中の技能
年間	【体育理論】(1)～(8) 【保健分野】 (9)心身の発達と心の健康	体育理論は上記(1)～(8)の単元の中で年間を通して学習する。 (9)心身の発達と心の健康についての内容を理解できている。 (各学期末テスト)

大池中学校	1年女子	保健体育
-------	------	------

1. 学習のねらい

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○健全な『からだ（身体）』と『こころ（精神）』を培う。 ○技能・体力の向上をはかり、運動を行うためのルール・知識を身につける。 ○自ら学び、まわりとつながり、ともに学びあう態度を養う。 ○自他の健康・安全に留意し、生活する習慣を身につける。 ○運動に親しみ、生涯スポーツを通して、豊かな生活をおくる態度を身につける。
使用教材	教科書： 新しい保健体育（東京書籍） 補助教材： ステップアップ中学体育（大修館）・学習ノート（中学保健体育ノート 大修館）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
○関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自らすすんで運動の楽しさや喜びを得ようとする。 ・心身の健康や安全に関心をもち、健康で安全な生活を実現するため、すすんで学習に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①約束やきまりを守る（服装・忘れ物・遅刻・見学・欠席） ②毎回の取り組み・課題（ウォーミングアップ、補強運動など）をしっかりとできる ③準備や後片付けをすすんで行なう ④自ら進んで学習に取り組む、積極的に仲間への声かけを行える
○思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性に応じて、能力に応じた課題解決をめざし、考え工夫している。 ・心身の健康や安全に関する課題解決をめざし、適切に判断し、行動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤自分で目標をもって学習し、成果や課題をふりかえり、次に活かそうとする ⑥自己評価がきちんとできる ⑦健康・安全に対する配慮ができる
○運動の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・能力に応じた課題解決をめざし、運動を行い、技能を身につけている。 ・体力を高めるために運動の合理的な行い方を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧実技テスト ⑨技能の伸長 ⑩授業のようす
○知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性と学習方法に関する知識を理解し、身につけている ・健康・安全に関する知識を理解し、身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑪定期テストの正答率 ⑫授業中の学習内容（ルール、運動の行い方、保険の授業の内容など）を理解し、活用しようとする

3. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ①ベル席をきちんと守ろう。チャイムと同時にアップを始めよう。 ②服装を整え、準備運動にきちんと取り組もう。 ③姿勢よく話を聞けるようにしよう。 ④準備や後片付けにすすんで取り組もう。 ⑤学習（練習）に自分からすすんで取り組もう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の体力向上のために、自宅のできるトレーニングをやってみよう。 ②健康なからだを保つために栄養・睡眠を十分確保しよう。 ③運動に関する興味・関心・意欲向上のため、日頃から様々なスポーツに関する情報に目や耳を傾けよう。

4. 学習計画

	単元	主な学習内容と観点別評価の具体例
1学期	(1) 体づくり運動① (2) 陸上競技 (3) マット運動・跳び箱	(1) 準備運動、集団行動の意義を理解し、毎回の活動がきちんとできる (2) 各種目（ハードル、高跳び、幅跳び、ハンドボール投げ）の記録、技能 (3) マット運動・跳び箱・鉄棒の基本的な技能の習得
2学期	(4) 体づくり運動② (5) バレーボール (6) 剣道 (7) 長距離走	(4) 体育祭の練習、リレー 基本的な技能の習得と意欲的にできる (5) 基本的なサーブ・パスの技能、ゲーム中の技能 (6) 礼法、基本的な技の習得 (8) 1000m、2000m走の記録
3学期	(8) バasketボール (9) ダンス	(9) 基本的なドリブル・パス・シュートの技能、ゲーム中の技能 (10) 現代的なリズムのダンスを体を大きく使って表現できる
年間	【体育理論】(1)～(8) 【保健分野】 (9)心身の発達と心の健康	体育理論は上記(1)～(8)の単元の中で年間を通して学習する (9)心身の発達と心の健康についての内容を理解できている（各学期末テスト）

大池中学校	1 学年	技術
-------	------	----

1 学習のねらい

学習のねらい	<p>○実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりやコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得する。</p> <p>○ものづくり等に関する基礎的な知識と技術を習得し、2年次につながる能力と態度を育てる。</p> <p>○適切に材料やコンピュータを活用する能力と態度を育てる。</p>
使用教材	<p>教科書：教科書(東京書籍)</p> <p>副教材：技術・家庭総合ノート(明治図書), パイン13</p>

2 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
①	<p>生活や技術への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活や産業の中で用いられている技術に関心を持ち、技術が果たしている役割を考えようとしているか。 材料の種類やその特徴と使用法を知り、製作品の目的にあわせた材料を選択しようとしているか。 身の回りの生活を向上させるための製作品を構想することに関心を持ち、製作するために必要なことを図で表現しようとしているか。 加工技術に関心を持ち、目的や条件に応じて、工具や機器を適切に活用しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の様子(準備物, 態度, 動作, 発言, 質問, 意見など) ノートやプリント等の提出物 仲間への声かけの様子 材料を加工する様子
②	<p>生活を工夫し想像する能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術と社会や環境とのかかわりについて見直し、課題を見つけ、その解決を目指して多様な方法を工夫したり創造したりして、技術について評価し活用する能力が備わっているか。 自らの工夫によって目的に応じ、適切な製作計画と材料を選び、ものを製作しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の様子(動作, 発言, 作業内容など) ノートやプリント等の提出物 仲間への声かけの様子 製作図や記述内容 製作したもの(材料を加工する様子も含む) 定期テスト
③	<p>生活の技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な状況に応じて、いろいろな道具を使いこなし、製作の見通しを立てながら正確に製作ができているか。 技術を活用するために必要な基礎的・基本的な技術を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の様子(動作, 発言, 作業内容など) ノートやプリント等の提出物 製作図や記述内容 製作したもの(材料を加工する様子も含む) 定期テスト
④	<p>生活や技術についての知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術が果たしている役割に関する知識を身につけ、技術のあり方について理解しているか。 製作品の構想の表示方法に関する知識を身につけ、設計時に必要な材料の性質や機能及び構造について理解しているか。 加工技術に関する知識を身につけ、工具の仕組みについて理解し、様々な状況に応じて必要なものを作り出せる知識や理解を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の様子(動作, 発言, 作業内容など) ノートやプリント等の提出物 仲間への声かけの様子 製作したもの(材料を加工する様子も含む) 定期テスト

3 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> • ベル席を心がけ、授業に集中しよう。 • 理論学習の授業中は挙手に努め、積極的に授業に参加するとともに、ノートにしっかり記入しよう。 • 提出物はきちんと出そう。 • 指示を良く聞き、道具や機械を適切に使用し、積極的に作業に取り組もう。 • お互い声を掛け合いながら、うまくいったことを共有したり困ったことをともに考え解決したりしていくなどして、グループで協力しながら作業を進めよう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> • キャビネット図や等角図などでいろいろな図形をかいて、その使い方になれておこう。 • 身の回りにある道具や機械、製品に興味を持って、工夫されているところなど積極的に調べてみよう。 • その日の内に学習した内容を、ノートで復習しておきましょう。

4 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1年1学期	<p>○コンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得</p> <p>○生活とものづくりの技術</p> <ul style="list-style-type: none"> • 生活を支える技術について考えよう。 • 工夫することのすばらしさを知ろう。 <p>○材料の特徴と加工法</p> <ul style="list-style-type: none"> • 様々な材料の特徴を調べ、まとめよう。 • 様々な材料の加工法を調べよう。 <p>○設計</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設計の進め方を知ろう。 • 機能や構造、加工法を知ろう。 • 製図のきまりを知ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 積極的に発言する。【関】 • ノートをきちんとまとめる。【関・知】 • 班で相談する時は積極的に意見を出し、考えをまとめたり、発表したりする。【関】 • 材料の特徴などを理解する。【知】 • 材料の加工法を知る。【知】 • 等角図、キャビネット図を使い作図する。【技・工】 • 製図の小テスト【関・技】
1年2学期	<p>○製品の加工</p> <ul style="list-style-type: none"> • 製作の準備をしよう。 • 材料取りをしよう。 • 部品の加工をしよう。 • それぞれの加工法で反省をしよう。 • オリジナルの考えを作品に取り入れる。 <p>○組立と仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 組み立てをしよう。 • 仕上げをしよう。 • 製作全体でまとめをしよう。 <p>○環境問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3Rについて調べ、考えよう。 • エネルギーについて考えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 積極的に発言する。【関】 • ノートをきちんとまとめる。【関・知】 • 安全に気をつけながら積極的に作業に取り組む。【関・技】 • けがき、のこぎりびき、切削、穴あけなどの作業を正確にできる。【技】 • 作業段階ごとの課題に取り組み、反省を行う。【関】 • 作業の準備やあとかたづけを協力して行う。【関】 • 作品例に独自のアイデアを取り入れる。【工】 • 部品を図面通りに組み立てできる。【技】 • 班で協力しながら、作業を進める。【関・技】 • 作業の準備やあとかたづけを協力して行う。【関】 • 製作をふり返り、反省やまとめ、感想を用紙にまとめる。【関】 • 3Rについて調べ、レポートをまとめる。【関・工】 • エネルギー問題について調べ、利用を考える。【関・知】 • 定期テスト【工・技・知】

大池中学校	1 学年	家 庭
-------	------	-----

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>衣生活・住生活</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の着用している衣服に関心を持ち、学習したことを日常生活で生かそうとする。 2. 基本的な縫い方を身につけ、衣服の補修ができるようになるとともに、その技術を生かして作品を作ることができる。 3. 自分の衣服の活用や、自分らしい着方を考えることができる。 4. 洋服の表示の読み方や衣服の材料について知り、購入時や手入れの際に生かそうとする。 5. 住まいの役割を考え、健康的で安全な住まい方について理解し、自分の住まい方を見直そうとする。
使用教材	<p>教科書：新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍）</p> <p>教材：布、ボタン、スナップつけの基礎縫い 作品の材料</p>

2. 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
関心・意欲・態度	<p>生活や技術への</p> <ol style="list-style-type: none"> ①授業・実習に興味・関心を持って取り組んでいるか。 ②準備・後片付けにも、きちんとできているか。 ③授業で使うワークシートは確実に書き込まれているか。 ④教科書・ファイル・裁縫用具等の持ち物、調べ学習（宿題）など授業の準備が確実にできているか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②学習活動への参加の仕方（見取り） ③課題への取り組み（ワークシート） ④授業への準備（宿題・持ち物調べ）
工夫する能力	<p>生活を創意・</p> <ol style="list-style-type: none"> ①作品のデザイン性が優れているか。 ②作業中や準備片付けの際に工夫が見られるか。 ③安全を配慮し、快適に住まう工夫ができるか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①作品に見られるアイデア・工夫 ②作業中の能率よさ、工夫など（見取り） ③ワークシートの記入
生活の技能	<ol style="list-style-type: none"> ①基本縫い（玉止め・玉結び・波縫い・ボタン付け・スナップ付け・本返し縫い・まつり縫い）の技能を身につけているか。 ②作業中の布や針の扱い方が正しいか。 ③ミシンを準備し、正しく扱い縫うことができるか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①③基本縫い・作品のできばえ ②作業中の様子（見取り） ③ワークシートの記入
理解	<p>生活や技術への知識・</p> <ol style="list-style-type: none"> ①授業中の発言やワークシートで、生活に関する知識・経験が見られるか。 ②衣服のはたらき・材料の性質・手入れ・補修の仕方等について基本的な知識が身につけているか。 ③快適な住まい方について、基本的な知識が身につけているか。 	<ol style="list-style-type: none"> ① ワークシートの記入 ②③定期テストや単元テスト

3. 学習方法についてのアドバイス

学校で	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に必要な物を確実に準備すること。（特に製作時） ・ 授業中に友達と交流するときは、友達の意見を大切にしよう。 ・ 授業ではワークシートをしっかりと書き込もう。大切なことはメモする習慣を付けよう。 ・ 作業をするときは、授業の進度に大きく遅れないように時間の使い方を工夫しよう。 ・ 「どうすれば能率が良いか」「どうすればより良くできるか」常に考え、1度や2度の失敗であきらめることなく根気よく取り組もう。 ・ すぐ人に聞かず、自分でもよく考えよう。
家庭で	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べ学習の宿題が出たときは丁寧によろう。 ・ 学習したことを家で実践しよう。その感想などもワークシートに書き込んでいくと良い。 ・ 衣服について興味をもち、「なぜ?」「どうやって?」など疑問を見つけるようにしよう。

4. 学習計画

	各単元的主要学習内容	観点別評価の具体例
1 1 月	衣生活と自立 ・着る目的を考えよう ・衣服の計画的な活用方法 ・必要な衣服の選択 ・衣服の手入れ ・よりよい衣生活を目指して	関心 ・衣服の活用や表示調べ・衣服材料の性質や手入れについてのワークシートに書き込みが丁寧にできているか。 技能 ・習った知識を日常生活と結び付け生かそうとしているか。 知識 ・衣服のはたらきや活用について理解できているか。 ・繊維名とその大まかな性質がわかり、洗濯など手入れの仕方と結びつけて考えることができるか。 ・組成表示・取り扱い表示が正確に読み取れるか。
1 2月 ～ 2月	生活を豊かにするために ・基本縫いの練習（小学校の復習） ・基本縫いの練習 まつり縫い スナップ付け ・ミシンを使った作品作り	関心 ・基本縫いの練習・作品作りに、関心を持って取り組むことができるか。 ・時間を有効に使い、授業の準備や作業の後片付けがきちんとできるか。 工夫 ・作業の際、課題をもち、自分なりの工夫をしたり、進め方を考えたりできるか。 ・作品作りでは、デザインや機能の点で工夫をすることができるか。 技能 ・小学校で習った縫い方が理解できているか、できるか。 ・ボタン付けやまつり縫いなど衣服の補修に必要な縫い方が、正しく丈夫に美しくできるか。 ・安全で効率よく、丁寧に作品を製作する事ができたか。 ・ミシンの糸かけ・下糸巻き・直線縫いができるか。 知識 ・作品製作に関する知識（用具の名称・縫い方・布の扱い等）が身についているか。
2 月 ～ 3月	快適に住まう ・住まいの役割 ・健康的で安全な住まい	関心 ・授業の準備をきちんとし、授業内容に関心を持って積極的に取り組むことができるか。 ・ワークシートへの書き込みが確実・丁寧か。 工夫 ・安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について課題を見付け、その解決を目指して工夫をしているか。 知識 ・住まいの機能について理解し、安全で快適な住まい方について、正しく理解できているか。（小テスト・定期テスト）

大池中学校	1学年	外国語科
-------	-----	------

1、学習のねらい

使用教材	教科書：NEW CROWN 1（三省堂）
	補助教材： <ul style="list-style-type: none"> ・ENGLISH NOTEBOOK（正進社） ・英語フレンドノート 前期・後期（正進社） ・ジョイフルワーク（新学社）
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ■ 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深める。 ■ 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。 ■ 聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を身につける。 ■ 基礎的な英語を用いて、自分の考えや気持ちなど伝えたいことを話したり書いたり表現できる力を身につける。

2、評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習や音読、通訳練習などの言語活動に積極的に取り組んでいる。 ・工夫して英語でのコミュニケーションを続けようとする。 ・与えられた課題ページをきちんと暗唱することができる。 ・予習復習としてノートやワークなどの課題をしっかりとできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組みの姿勢 ・発言の様子 ・提出物の内容と提出状況 ・暗唱課題の達成率
② 外国語表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・初歩的な英語や既習の文法事項を用いて、自分の考えや気持ちを正しく話したり、書くことができる。 ・初歩的な英語や既習の文法事項を用いて、場面や相手に応じて適切に話すことができる。 ・教科書の音読やスピーチ、暗唱を英語のリズムや音などを意識して適切にできる。 ・YEFとの会話やQ-Aなどに対して意欲的に、正しい英語を用いて表現できる。 <p>・さまざまなテーマについて簡単なレポートにすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチや暗唱での表現力 ・会話テスト ・リーディングテスト ・日記や作文課題の内容 ・小テスト ・定期テスト(表現に関する問題)
③ 外国語理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・教材となっている本文や英語の情報を正しく聞き取ったり、読み取ることができる。 ・友達のレポートやスピーチを正しく聞き取ることができる。 ・初歩的な英語を場面や状況に応じて適切に聞いたり、読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニングテスト ・小テスト ・定期テスト <p>(聞き取り・読み取りに関する問題)</p>
④ 言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく学習する語彙や表現を理解し覚える（運用する）ことができる。 ・新しい文法事項や初歩的な英語表現に関する知識を身につけ、覚える（運用する）ことができる。 ・英語の本文や教材などを通して、日本と外国文化について理解することができる。 ・自国の文化や外国文化について調べ、知識として身につけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・小テスト・単語テスト ・定期テスト(語彙・文法に関する問題)

3、学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴るまでに授業準備をして、着席し、前回学習した内容を見直す。 ・授業中は、話をしっかり聞く。音読やリピートでは声をしっかり出して英語を言う。 ・ペーパーワークでは、時間いっぱい練習する。わからないことは積極的に教えてもらう。 ・発問などには積極的に参加し、英語をたくさん使う。 ・ノート、ワーク、レポート、プリントなどの提出物は丁寧に仕上げ、期日を守る。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・予習として、単語調べ・本文写しを確実にしてくる。 ・教科書の本文は、声を出して何度も読む。暗唱指定ページは、覚えるまで繰り返し練習する。 ・単語や基本文など、繰り返し声を出しながら読み、何度も書く。 ・ワークやプリントで習ったところを練習する。理解するまで答えや解説をしっかりと読む。 ・NHKラジオ講座〔特に基礎英語1など）やTV講座やリスニングのCDなどをできる限り聞く。 ・英語検定試験などを目標にして学習を広げる。

4、学習計画

各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
Get Ready①～⑤ LESSON 1 I am Tanaka Kumi I am ... You are... Are you...? I am not... WORDS & SOUNDS① 数字 Let's Talk① ごめんなさい I'm sorry. No problem.	【関】 ：意欲的に英語の表現活動に取り組むことができる。 英語のあいさつが元気よくできる。 忘れ物などなくきちんと授業に臨んでいる。 【表】 ：アルファベットの大文字・小文字を発音したり書くことができる。 身の回りの簡単な英語を言ったり、書いたりすることができる。 自分の名前を紹介したり、自分の気持ちや状態を説明することができる。 またその英文を書くことができる。 電話番号を説明することができる。 あいさつをする会話をするすることができる。 【理】 ：あいさつの表現を聞いたり、読んで理解することができる。 アルファベットの文字・小文字を聞き取ったり、読んだりすることができる。 身の回りの簡単な英語を聞き取ることができる。 自己紹介や、気持ちや状態の説明を聞きとったり、読み取ることができる。 【言】 ：be動詞am/areの文構造に関する知識を身につけている。 姓名の言い方について理解している。 数字について日本語と英語の音の違いに関する知識を身につけている。

1 学期	<p>LESSON2 My School This is... Is that...? What is this? This is not... He is.../She is...</p> <p>WORDS & SOUNDS② 曜日と教科 Let's Talk② 今、何時? What time is it?</p>	<p>【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。暗唱に積極的に取り組む。</p> <p>【表】：人や身近なものについて説明したり、たずねたりする会話をすることができる。また、その英文を書くことができる。時間割について説明することができる。時刻をたずねたり説明する会話をすることができる。</p> <p>【理】：会話を聞いて、その内容を聞き取ったり、対話文を読んで、その内容を読み取ることができる。</p> <p>【言】：be動詞 is の文構造に関する知識を身につけている。曜日、教科を表す語に関する知識を身につけている。What time is it? と時刻をたずねたり、It is ~ と時刻を説明したりする表現の知識を身につけている。</p>
	<p>LESSON3 I Like Soccer I play... Do you play...? I do not play... What do you have...? What food do you like?</p> <p>WORDS & SOUNDS③ 1日の生活 Let's Talk③ どこにありますか Where is...?</p> <p>LESSON 1~3 文法のまとめ Project① 自己紹介をしよう 発音とつづり (Phonics)</p>	<p>【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。暗唱に積極的に取り組む。</p> <p>【表】：好きなものや好きなことについて説明したり、たずねたりする会話をすることができる。好きなスポーツを説明したり、たずねたりする会話をすることができる。場所をたずねたり説明する会話をすることができる。</p> <p>【理】：会話を聞いて、その内容を聞き取ったり、対話文を読んで、その内容を読み取ることができる。</p> <p>【言】：一般動詞の文構造に関する知識を身につけている。日常で行う動作を表す語に関する知識を身につけている。Where is ~? を使って場所をたずねたり、underなどの前置詞を使って場所を説明する表現の知識を身につけている。</p>
2 学期	<p>LESSON4 Field Trip two bags How many...? Play.../Don't.../Let's...</p> <p>Lesson 4 文法のまとめ WORDS & SOUNDS④ 季節と月 Let's Listen① 店の音声案内 Let's Talk④ 買い物しよう How much is...</p>	<p>【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。暗唱に積極的に取り組む。</p> <p>【表】：複数のものや好きなことについて説明したり、たずねたりする会話をすることができる。自分の持ち物などの紹介を書くことができる。値段をたずねたり説明する会話をすることができる。</p> <p>【理】：対話文を読んで、その内容を読み取ることができる。命令文を聞いて応答することができる。店の音声案内を聞いて、案内を聞き取ることができる。</p> <p>【言】：複数形や数のたずね方、命令文に関する知識を身につけている。How much ~? を使って値段をたずねたり、It'sなどで値段を説明したりする表現の知識を身につけている。季節や月を表す語に関する知識を身につけている。</p>
	<p>LESSON5 Our New Friend Who is...? Where do you...? When do you...? him/her</p> <p>Lesson 5 文法のまとめ WORDS & SOUNDS⑤ 色と大きさ Let's Listen② 先生へのインタビュー Let's Talk⑤ これだれの? Whose...is this?</p>	<p>【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。暗唱に積極的に取り組む。</p> <p>【表】：家族や友達などについて質問し合うことができる。持ち主をたずねたり、説明する会話をすることができる。</p> <p>【理】：会話を聞いて、その内容を聞き取ったり、対話文を読んで、その内容を読み取ることができる。</p> <p>【言】：先生へのインタビュー who,where,whenの疑問文や、目的語で使われる代名詞(him/her)に関する知識を身につけている。 Whose~? を使って持ち主をたずねたり、mineなどで持ち主を説明する表現の知識を身につけることができる。</p>
	<p>LESSON6 My Family Miki plays... Does Miki play...? Miki does not play... Where/When does Miki...? Let's Listen③ 先生からのお知らせ Let's Talk⑥ お昼ごはんを食べよう which do you want A or B...? Project② 友達にインタビューをしよう For Self-study①</p>	<p>【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。暗唱に積極的に取り組む。</p> <p>【表】：友だちのすることについて説明したり、たずねたりする会話をすることができる。またその英文を書くことができる。何かをする時刻をたずねたり説明する会話をすることができる。</p> <p>【理】：家族や友だちの紹介文を読んで、書かれている内容を読み取ることができる。</p> <p>【言】：三人称単数現在形に関する知識を身につけている。 Which do you want ~? を使って好みをたずねる表現の知識を身につけている。</p>
	<p>LESSON7 Sports for Everyone Koji can play... Can Koji play...? Koji cannot play...</p> <p>Let's Listen④ テレビ番組 let's Talk⑦ 電話をしよう</p>	<p>【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。暗唱に積極的に取り組む。</p> <p>【表】：インタビューして、相手に、できること・できないことをたずねることができる。人に何かを依頼する会話をすることができる。</p> <p>【理】：会話を聞いて、話題となっている人物などができることとできないことを聞き取ることができる。</p> <p>【言】：助動詞canに関する知識を身につけている。 Can you ~? で依頼する表現の知識を身につけている。</p>
3 学期	<p>LESSON8 School Life in the USA Tom is playing... Is Tom playing...?/Tom is not playing... What is...ing? Let's Listen④ ナディムからのビデオレター let's Talk⑧ 公園に行こう How can we go to...?</p>	<p>【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。暗唱に積極的に取り組む。</p> <p>【表】：写真などの内容を紹介することができる。また、その英文を書くことができる。交通手段をたずねたり説明する会話をすることができる。</p> <p>【理】：異文化についての紹介を聞いて、聞き取ることができる。</p> <p>【言】：現在進行形に関する知識を身につけている。 英語のメールの書き方について理解している。How can we go to ~? で交通手段をたずねたり、by ~で交通手段を説明したりする表現を身につけている。</p>
	<p>LESSON9 For Seasons Amy played... Did Amy play...?/Amy did not play.../ Amy went...</p> <p>Let's Listen⑥ 英語で昔話 let's Talk⑨ どうして好きなの? Project③ 大切なものを紹介しよう</p>	<p>【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。暗唱に積極的に取り組む。</p> <p>【表】：この1年間の思い出を紹介するグリーティングカードを書くことができる。人に好みをたずねる会話をすることができる。</p> <p>【理】：日本の昔話を聞いて、聞き取ることができる。感想文を読んで、書き手の意向を読み取ることができる。</p> <p>【言】：一般動詞の過去形に関する知識を身につけている。 Why do you like A? で好みの理由をたずね、Because~で説明する表現の知識を身につけている。</p>
	<p>Let's Read Alice and Humpty Dumpty</p>	<p>【表】：意味のまとまりを考えて説明文を音読することができる。</p> <p>【理】：説明文を読んで、書かれた内容を読み取ることができる。</p>

「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標(5領域)
四日市市立大池中学校

学年	ステップ	Listening		Speaking		Reading	Writing
			やり取り		発表		
3	6	話し手に聞き返したり、質問したりできるよう、内容を確認しながら聞くことができる。	相手との会話の中でYes/No Questionや疑問文を含む質問を投げかけ、それに応じた回答を得たり、答えたりできる。その中で答える側は合図値を打ったり、つなぎ言葉を使うことができる。	スピーチ原稿を順序立てて作成し、まとまりのある文章で発表できる。また、アイコンタクトや抑揚をつけて発表できる。	様々な文章(物語文や説明文等)を読んで、その概要や要点を理解するとともに、それに対して感想を述べたり、理由を示したりできるよう、自分の考えを持って読むことができる。	身近なテーマについて、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、まとまりのある文章を書くことができる。	
		Let's Listen 5 (英語のスピーチ) Let's Listen 6 (英語の歌)	Lesson 3 USE Speak (会話を広げよう)	Lesson 3 Project 1 (学校の先生紹介) Lesson 5 Project 2 (日本文化を紹介しよう) Lesson 5 Speak (行きたい場所について紹介するスピーチ) Lesson 7 Project 3 (ディスカッション)	Let's Read 1 (物語文) Let's Read 2 (社会貢献) Let's Read 3 (体験手記)	Lesson 1 (好きな言葉についてのスピーチ原稿) Lesson 2 (自己紹介)	
	5	ゆっくり、はっきりと話されれば、まとまりのある少し長めの英文(会話やアナウンス等)を聞いて、全体の概要や内容の要点を正確に聞き取ることができる。	登場人物の会話内容を理解し、ペアで登場人物になりきり、会話を続けることができる。	自分の好きな言葉を元にスピーチ文を作成して「好きな言葉」、「なぜ好きなか」を明確にした上で相手に伝えることができる。	まとまりのある英文を読んで、あらすじや大切な部分などを正確に読み取り、自分の言葉で内容について簡単に説明することができる。	身近な人や写真、事物の説明などを、文のつながりや文章の構成などを意識して、まとまりのある文章を書くことができる。	
		Let's Listen 1 (動物園のアナウンス) Let's Listen 2 (英語落語「時そば」) Let's Listen 3 (テレビニュース) Let's Listen 4 (旅行案内)	Let's Talk 1 (退席内) Let's Talk 2 (病状を尋ねる) Let's Talk 3 (買い物) Let's Talk 4 (家庭内での会話) Let's Talk 5 (電話での会話)	Lesson 1 (好きな言葉についてのスピーチ)	Lesson 3 (落語) Lesson 7 (自分にとっての英語)	Lesson 4 (物語の要約文) Lesson 6 (人物紹介)	
	4	簡単なスピーチやなじみのあるトピックについてのプレゼンテーションを聞いて、その大まかな内容を聞き取ることができる。	友達の家や電話、お店などで、許可を求めたり、謝罪したり、苦情を言うなど、自分の気持ちを伝えながら、会話を続けることができる。	聞き手に効果的に伝わるように、自分たちが興味があるものについて、プレゼンテーションすることができる。	まとまりのある英文(説明文等)を読んで、その概要や書き手の意向を読み取り、要点を把握することができる。	自分の興味のある事柄についての基本的な情報を、辞書等を用いて、まとまりのある文章を書くことができる。	
		Let's Listen 6 (プレゼンテーション)	Let's Talk 5~7	Lesson 7 (プレゼンテーション)	Lesson 3 (The Ogasawara Islands) 講演資料 Lesson 4 (Enjoy Sushi) Lesson 8 (India, My country) 説明文 Lesson 5 (Uluru) ガイドブックのコラム Let's Read 2 (Landmines and Aki Ra) 自伝	Lesson 5 USE Write (自分の好きな国についてのエッセイ) Project 2 (自分の夢を紹介)	
2	3	繰り返しや言い換えを交えて、ゆっくりはっきりと話されれば、天気予報やアナウンスを聞いて、自分にとって必要な情報を聞き取ることができる。	身近な暮らしにかかわる事柄について、聞き手に正しく伝えたり、聞き手からの質問に適切に応じたりすることができる。	身近なトピックについて、教科書のモデル文や既習の表現を活用して、自分の考えや気持ち、事実などを話すことができる。	英文の内容を考えながら黙読したり、内容が伝わるように音読することができる。	簡単な語や基礎的な表現を用いて、自らの体験や経験について、書くことができる。	
		Let's Listen 1 (ニュース) Let's Listen 2 (天気予報) Let's Listen 4 (空港・機内のアナウンス) Let's Listen 5 (留守番電話)	Lesson 1 USE Speak (相づち) Lesson 4 USE Speak (確認) Let's Talk 1~4	Lesson 6 (将来の夢のスピーチ)	Lesson 2 (Peter Rabbit) 物語文 Let's Read 1 (A Pot of Poison) とんち話	Lesson 1 (春休みの思い出) Project 1 (有名人を紹介)	
1	2	本人に向かって、ゆっくりはっきりと話されれば、自己紹介や身近な話題についての短い英文を聞いて、話し手の伝えたいことを理解することができる。	基本的な語や表現を用いて、自分のことや身の回りの物など、身近な話題について簡単な会話をすることができる。	基本的な語や表現を用いて、絵や写真を見せながら、準備をした上で簡単な人の紹介をや自分の大切なものについて話すことができる。	図や写真などを手がかりに、身近な話題についての短い文章を読んで、概要や要点を捉えることができる。	基本的な文の決まりに従って、自分や身近な人や物を紹介する文章を書くことができる。	
		Let's Listen 2 (インタビュー) Let's Listen 4 (テレビ番組) Let's Listen 5 (ビデオレター) Let's Listen 6 (昔話)	Lesson 4 (身近な環境問題) Lesson 5 (新しいクラスメート) Let's talk 5~9	Lesson 6 Project 2 (友達や家族など、人の紹介) Project 3 (大切なものを紹介しよう)	Lesson 7 (いろいろなスポーツ) Lesson 8 (外国の中学校生活) Lesson 9 (日本の身近な年中行事) Let's Read (物語)	Lesson 1 (あいさつ・自己紹介) Lesson 2 (人や物の紹介) Lesson 3 Project 1, Project 3 (自己紹介) Lesson 6 Project 2 Project 3 (友達や家族など、人の紹介)	
	1	本人に向かって、ゆっくりはっきりと話されれば、簡単な英語を聞いて、具体的な行動に移すことができる。	基本的な語や表現を用いて、あいさつや日常的な会話をすることができる。	基本的な語や表現を用いて、簡単な自己紹介、人や物の紹介をすることができる。	アルファベットや身近な暮らしに関わる単語について、正しい発音で読むことができる。	アルファベットの大文字・小文字、単語のつづりをブロック体で書くことができる。	
		Simon Says Classroom English Let's Listen 1(電話) Let's Listen 3(学校生活)	Classroom English Lesson 1 (あいさつ) Let's Talk 1~4	Lesson 1 (自己紹介) Lesson 2 (人や物の紹介) Lesson 3 Project 1 (自己紹介)	Get Ready 1~4	Get Ready 3 (アルファベットを覚えよう)	